

村政を問う 一般質問 9

地域住民の声を聞く手法とは
血税で浪費した費用の事後対応は
アンケート結果後の進め方は
官民一体・協働で研究会発足を

はろば
白馬
議会だより
88号

平成21年第1回定例会 1

陳情の審査結果 8

おらが里づくり 14

わたしのひとこと 15



“おめでとう” 白馬中学開校以来、初めて5組の双子が入学

き健全財政構築に向けて— 一般会計予算43億3700万円を可決

(賛成9、反対1) 前年度対比5400万円減 (△1.2%)

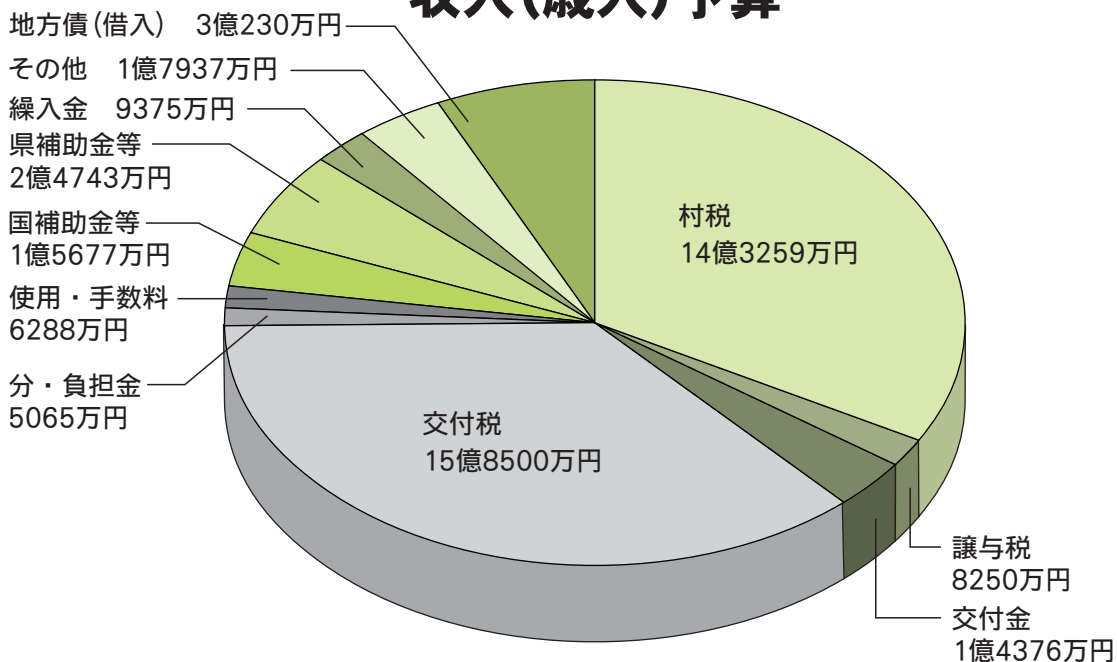
* 一般会計・特別会計予算等の議案	20件
* 条例等一部改正の議案	9件
* 同意	3件
* 陳情	3件
* 意見書提出の発議	1件
* 一般質問	4名

計画的な行財政運営を
強く求める

《基本方針》

先行投資による公債費負担が大きく、平成19年度実質公債費比率は21・6となっているので、公債費負担適正化計画を策定し、平成25年度までに18を割るよう計画していますが、固定資産の評価換えによる村税減収や、公共下水道への繰出しなど厳しい財政状況は21年度も続くので、限られた財源を効果的に活用して「持続的・安定的なサービス」の提供を図り、健全化財政に向けて努力していくとした予算編成です。

収入(歳入)予算

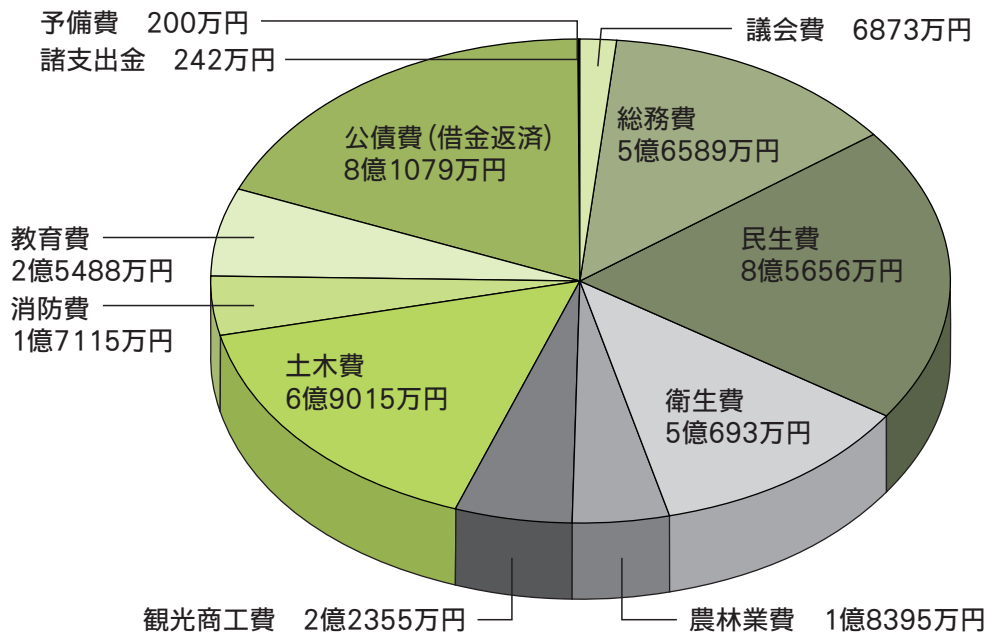


厳しい財政状況!

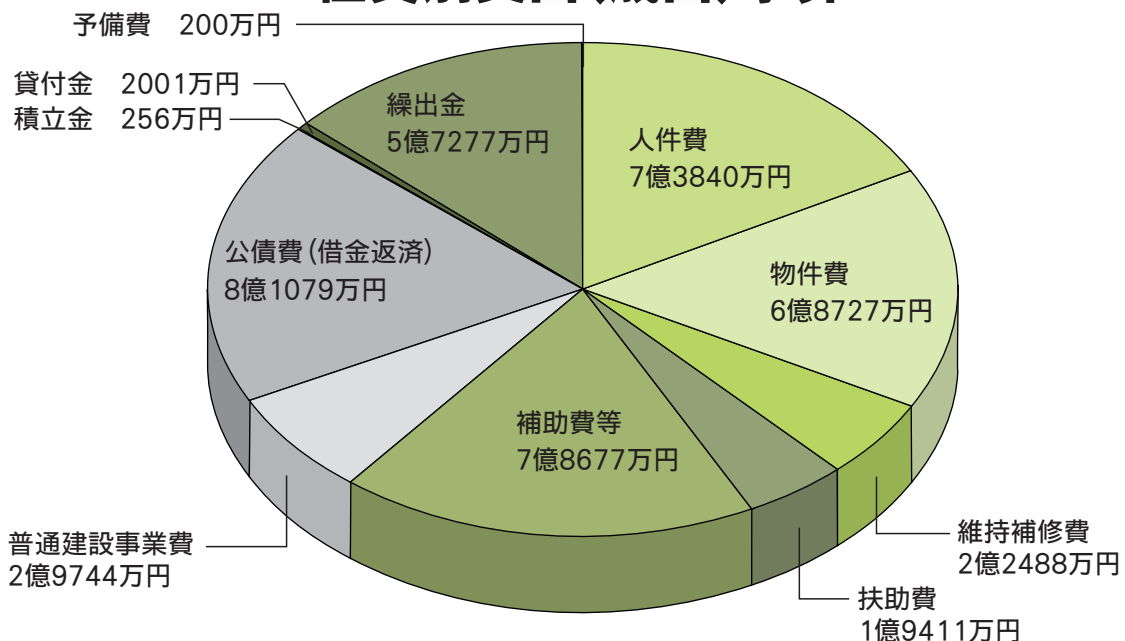
—引き続き

平成21年度—

目的別支出(歳出)予算



性質別支出(歳出)予算



会計名		予算額
特別会計	国民健康保険	12億2560万3千円
	後期高齢者医療	6281万2千円
	老人保健医療	91万3千円
	下水道	9億3111万1千円
	農業集落排水	7088万5千円
水道会計	収益的支出	2億8217万3千円
	資本的支出	1億6301万2千円

このような審議がありました

本会議での討論

● 一般会計予算

【反対討論】（渡辺俊夫）

環境衛生費に、北アルプス広域連合負担金3097万円9千円が計上されています。この負担金は環境アセスメント費用を始めとして、ごみ処理計画推進に関わるものです。今こそ計画推進を一旦凍結し、このアンケート結果に至るまでの全ての過程を、住民を交えて改めて検証すべきであり、村民の理解は得られないものと判断し、修正すべきであり、反対します。

【賛成討論】（松澤徹男）

すでに広域連合では、予算書の発注をしてあり、定例会の日程等々とも照合して、物理的に予算書を修正することは困難という判断の中で、広域議会は理事者側に、この予算修正を確認した上で議決していると聞いています。補正

予算で修正していけば、費用の無駄使いを防ぐという観点から、今回の予算は、連携・同調できる予算にするべきであり、以上のことを念頭に置き、賛成します。



予算特別委員会

予算特別委員会

総務課

問

重点プログラムにある緊急雇用創出事業は何年までか。

答

緊急雇用創出事業が1年・ふるさと雇用再生特別事業が3年間です。

税務課

問

法人税の減は。

答

村内大手スーパーが子会社に分割したため、250万円少なくなりました。

問

平成21年度滞納処分の強化とは、具体的に何を。

答

日常業務の中で、銀行等と連携を取りながら滞納処分、資産調査に力を入れていきます。

住民福祉課

問

介護保険費1600万円増の主なもの。

答

北アルプス広域連合への介護保険事業負担

金(居宅介護サービス給付費)が、約1200万円増になっています。

問

保険予防費850万円増の主なもの。

答

妊婦検診の関係で、約530万円増えています。



工事中の神城山麓線

環境課

問

北アルプス広域連合負担金の内容は。

答

火葬場の運営費が344万1千円、火葬場の建設費(償還費)が1347万7千円、ごみ処理広域化推進費が1406万1千円で、合計3097万9千円です。

問

平成21年度から粗大ごみはすべて有料ですか。

答

平成20年度以前は、鉄屑類は無料でしたが、すべて有料になります。

観光農政課

問

森林整備地域活動支援交付金の内容は。

答

協議会を設置し、団地化(面積の集約)しようとする森林の樹種・林齢等の調査を実施すれば、1ha当たり1万5千円の交付金が出るものです。

問

観光局の社員をやめたいという話があるが、

答

観光発展のためには、観光局の社員になって貰うのが大前提です。観光客の誘致は、観光局で責任を持ってやるよう組み立てを検討中です。

建設水道課

問

名鉄・みそら野地区の合併浄化槽整備事業補助は、今後どうするのか。

答

今後も、補助をしていきます。

問

山麓線の全体計画及び企画書・陳情書はありますか。

答

神城山麓線は、白馬村第3次総合計画(後期計画)にあり、飯田・飯森地区から八方に繋がる道路建設は、集落振興計画での要望を受け、国の採択を経て現在に至っています。



教育委員会教育課

小学校の英語教育は。

問

北小270時間・南小135時間です。

答

幼稚園の就園補助の対象者は。

問

年収360万円以下の世帯で、20世帯見込んでいます。

答

教育委員会 スポーツ課

問

総合型地域スポーツクラブ事業とは。

答

地域の皆さんで作り、誰でも、いつでも、好きなレベルで、いろいろなスポーツを行うことができるクラブです。

問

地域の活性化のために、スノーハープに400mトラック設置を。

答

検討委員会を立ち上げて、結論を出したいと思っています。

▽賛成多数（反対2）で可

決と決定。

●国民健康保険事業勘定

出産育児一時金は、今いくらですか。

問

現在38万円ですが、10月以降に上げる予定です。

答

▽賛成全員で可決と決定。

●後期高齢者医療

滞納金20万円とあるが、現在発生しているのですか。

問

生活困窮者等の未払いが、生じています。

答

▽賛成多数（反対1）で可決と決定。

●老人保健医療

予算大幅減の理由は。

問

後期高齢者医療への制度移行に伴い、平成20年3月分以前の医療費返礼及び過誤調整分等のみの支出になるためです。

答

▽賛成全員で可決と決定。

●下水道事業

繰入金財源は。

問

普通交付税2億6000万円です。

答

▽賛成全員で可決と決定。

●農業集落排水事業

統合とは、どういう意味で、どこが対象になりますか。

問

農集排を下水道に接続することで、可能性があるのは、東部農集排だと思います。

答

▽賛成全員で可決と決定。

●水道事業

現在の滞納額は。

問

5560万円です。

答

滞納者は、閉栓してありますか。

問

誓約書を取り、約束を守らない場合は、閉栓をしています。

答

47スキー場の開発は、井戸水を使用しますか。

問

飲用が上水道で、他は井戸水と聞いています。▽賛成全員で可決と決定。

答



下水道へ統合が望まれる東部農集排



校長先生先頭に交通安全学習

総務社会委員会

定額給付金受付開始

●グリーンス
ポーツの指定
管理者の指定

問 何故、
公募によ
らないのですか

答 現在の
状態では、
会計方式・管理

方式・地主との関係等について、公募条件と整合性がとれていない。また、振興公社についても、組織等全般について検討中であるので、今回については従来どおりしたいと思います。
▽ 賛成全員で可決と決定。

●特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部改正

問 村長の寒冷地手当は、
必要ないと思いますが。

答 特別職は、寒冷地手当を含め大幅に減額しており、郡下でも最低の水準となっているので、ご理解願います。
▽ 賛成全員で可決と決定。

●一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

育児短時間勤務制度導入に伴う給与条例の一部を改正するものです。
▽ 賛成全員で可決と決定。

●一般職の職員の給与の特例に関する条例の一部改正

平成21年度の一般職の職員の給与を2%減額するものです。
▽ 賛成全員で可決と決定。

●消防団条例の一部改正

消防団員の年齢制限の項目を削除するものです。
▽ 賛成全員で可決と決定。

●一般会計補正予算
(第5号)

問 定額給付金について、
外国人の対象者は何人
いますか。

答 現在260名程度で
すが、法令に基づき精
査するので、変動する可能性
があります。

問 子育て応援特別手当
について、どのよう
なっていますか。

答 平成20年度において、
小学校就学前3年間に
該当する子どもであって、第
2子以降の子どもが対象とな
り、今のところ該当者は12
5名です。
▽ 賛成全員で可決と決定。



産業経済委員会

白馬尻小屋 平成21年度も休止

●グリーンス
ポーツ、国民保
養センター、夢
白馬施設、山小
屋の指定管理
者の指定

問 白馬尻小
屋は、ど
うしますか。

答 平成21年度も休止の
方向です。
▽ 賛成全員で可決と決定。

●オリンピック記念館の 指定管理者の指定

従来どおり、観光局に指定
するものです。

問 オリンピック記念館
の収入及び委託料は、
収入は360万円で、
89万円で委託をして
います。

▽ 賛成全員で可決と決定。

●村道路線の廃止

水神宮橋から内川橋までの
村道3140号線で、重複す
る区間を廃止するものです。
▽ 賛成全員で可決と決定。

●村道路線の変更

水神宮橋から内川橋までの
村道3140号線を、大出集
落まで延長するものです。
▽ 賛成全員で可決と決定。

●一般会計補正予算 (第5号)

問 農免道路事業負担金
の減額理由は、

答 県の工事実施が、次
年度に延びたためです

問 平成21年度完成予定です
が、平城山麓線の用地買
収の進捗状況は、

答 96%買収済で、残り
を交渉中です。

▽ 賛成全員で可決と決定。

ごみ処理施設 特別委員会

3月2日に、白馬新ごみ処

理施設を考える連絡協議会の
宮田会長から議長長宛に提出さ
れた「白馬議会の活動と運営
の検証に関する陳情書」への
回答

設問 議員は住民の代弁者と
して自覚があったか。

回答 住民の声を受け、賛成・
反対の無私無偏と、将来の村
民益を前提に議論をしてきま
した。

設問 民意をくみ取り反映さ
せる議会運営だったか。

回答 議会は、アンケートの
結果を尊重し、民意に沿った
結論に決しております。

設問 行政のチェック機能と
しての機能を果たしてきたか。

回答 議会は、行政に活断層
公害等、専門家の説明会開催
を提言し、住民に正しい情報

提供するこ
とに心がけ、
行政とは々
非々の議論
をしてきま
した。



熱戦を制したインターハイ

第1回臨時会

2月5日に開催

●一般会計補正予算

景気対策として、村に80
01万4千円の地域活性化・
生活対策臨時交付金の内示が
あり、市町村計画にあるもの
を中心に、緊急を要し、今後
も特定財源が得られにくい事
業と木の香る環境づくり総合
推進事業等を実施するために
1億3812万5千円を増額
するものです。

●国民健康保険条例の 一部改正の専決処分報告

▽ 賛成全員で承認。
出産育児一時金を35万円か
ら38万円にするものです。

主な事業は、同報無線操作
卓更新2852万円、図書館
情報システム整備1100万
円、小学校防火設備改修11
50万円、学校給食配送コン
テナ車購入405万円、凍結
防止剤散布機購入312万
円、道の駅白馬改修1343
万6千円、地域交流施設(飯
田)整備4100万円です。

● 3月定例会議決結果 ●

件 名	議決結果
長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更	可決（賛成全員）
北アルプス広域連合ふるさと市町村圏基金の財産の一部処分の変更	
八方体育館の指定管理者の指定	
グリーンスポーツ、国民保養センター、夢白馬施設、山小屋の指定管理者の指定	
オリンピック記念館の指定管理者の指定	
村道路線の廃止	
村道路線の変更	
職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正	
職員の育児休業等に関する条例の一部改正	
特別職の職員で非常勤のものの報酬に関する条例の一部改正	
特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部改正	
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	
一般職の職員の給与の特例に関する条例の一部改正	
消防団条例の一部改正	
消防団員等公務災害補償条例の一部改正	
一般会計補正予算（第5号）	
国民健康保険事業勘定特別会計補正予算	
後期高齢者医療特別会計補正予算	
下水道事業特別会計補正予算	
農業集落排水事業特別会計補正予算	
一般会計予算	可決（賛成9、反対1）
国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決（賛成全員）
後期高齢者医療特別会計予算	可決（賛成9、反対1）
老人保健医療特別会計予算	可決（賛成全員）
下水道事業特別会計予算	
農業集落排水事業特別会計予算	
水道事業会計予算	
一般会計補正予算（第6号）	同意（賛成全員）
教育委員会委員の任命	
固定資産評価審査委員会委員の選任	
議会投票用紙規程の一部改正	可決（賛成全員）
「汚染米」の食用への転用事件の全容解明と外米（ミニマムアクセス米）の輸入中止を求める意見書	

● 陳 情 文 書 ●

平成21年第1回白馬村議会定例会にて審議

提出者	住所	要 旨	所管委員会	審査結果
互助共済を守る長野県懇話会 会長 関 昌憲	長野市	共済法制定を求める陳情	総務社会委員会	継続審査（継続全員） 共済法が制定されれば、今回の保険業法改正問題の根幹であるニセ共済が規制できるか疑問です。共済の持つ相互扶助の意義については十分理解できますが、もう少し国の動向を見ていく必要があります。
農民運動長野県連合会 中信農民センター 組合長 倉橋 芳和	安曇野市	「汚染米」の食用への転用事件の全容解明と外米（ミニマムアクセス米）の輸入中止を求める陳情	産業経済委員会	採択（賛成全員）
白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会 会長 宮田 温巳	白馬村	「白馬議会の活動と運営」の検証に関する陳情	ごみ処理施設特別委員会	採択（賛成全員） *ごみ特別委員会参照

一般質問 (紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

村 政を問う

活力ある
村づくりをめざして



国際色豊かな「しろま保育園」入園式(4月2日)



ピッカピカの一年生(南小学校)

ごみ問題

問 地域住民の声を聞く手法とは

答 広域連合議会の中での決定になる



渡辺俊夫議員

【ごみ処理問題】

問 北アルプス広域連合には「住民主役を基調に誇り高く、夢をかなえるふるさとづくり」、白馬村には「住民と行政の協働」とあります。早急に、専門家や公募による住民等を交えた検討委員会を設置し、アンケート結果を検証すると共に、今日に至るまでの計画全ての再検討をする必要があると考えますか。

村長 ご指摘の多い選定委員会でのメンバー構成について、次は、専門家や住民代表の方々から広くご参加いただくよう十分考慮したものにしなければならぬと考えています。

問 3市村で取り交わされた基本協定は今後も有効ですか。

村長 恐らく再検討のテーブルに乗ることになるものと考えています。

問 ごみ処理広域化基本計画策定時の基礎データを直しますか。

村長 最新のものに入れ替えて、作り直すことになるものと考えています。

問 地域住民の声を聞く手法とは。

村長 議会、地域の皆さん方の声も当然反映され、広域連合議会の中での決定になると理解をしています。

【経済危機の中での村政運営】

問 国や県に先駆けて、村独自で削減目標を掲げて様々な環境対策に特化することを村の経営方針の要とするべきでは。

村長 国や県に先駆けて、村独自で削減目標を掲げて様々な環境対策に特化することを村の経営方針の要とするべきでは。

問 国や県に先駆けて、村独自で削減目標を掲げて様々な環境対策に特化することを村の経営方針の要とするべきでは。

村長 いかに立ち向かっていけばいいのか、私はその答えを残念ながら持っていません。しかし、環境を大切に村であることにアピールとして持つことは、悪くはないと思っています。

問 具体的な数値目標を盛り込んだ環境基本計画を早期に作成する考えはありますか。また、地球温暖化防止地域推進計画はいつ出来上がりますか。

村長 基本的な計画については、まさにこれから取り組む事項であると認識しています。また、推進計画については、

は、まもなく最終素案の段階に入っているものと思っています。

問 景観は最大の資産である古民家と茶屋との改修は景観を壊していると思いませんか。どのように考えていますか。

環境課長 ご指摘の件に関しましては、ただ今調整しております。暫くお時間をいただきたいと思います。

村長 地域の皆さんとも調整をしながら、景観に配慮したものにしていくよう、結論を出していきたいと思っています。



地球温暖化防止への協力を掲げる村内の大型店舗

提訴問題

問 血税で浪費した費用の事後対応は
答 弁護士費用等は原告に請求できない



松澤徹男議員

【渡辺議員の提訴問題】

問

昨年、議会制民主主義の議論を経て議決執行された、観光局の経営診断をする予算を渡辺議員は不服として、負担金の返還を求めた監査請求や司法に委ねた提訴をしています。その後、棄却となり結審していますが、行政が血税で浪費した裁判費用等の扱いを含めた事後の対応について、村長の見解を伺います。

村長

渡辺議員は、補正予算や決算の議決に参加しており、監査請求や訴訟を提起することは、議会制民主

主義を冒涇するものではないかと思っています。村が支出した費用は37万円で、弁護士への相談や裁判の傍聴に延べ6人が、松本市、長野市に出張しています。なお、弁護士費用や裁判傍聴等の費用は原告に請求する権利は発生しないと聞いています。

【全員協議会に
おける村長発言】

問

昨年12月定例会に於いて、飯森区役員と行政の会議の内容が、後日議会に報告した内容と異なり、報告は虚偽であると渡辺議員から指摘されましたが、本会議場の発言でもあり、誤伝なら懲罰に当たる重大な問題と認識し、私も真相調査をしました。前役員は区では賛否を採らない、行政の方針に従うと総会で決していると話していました。当事者である村長の

真意を伺います。

村長

12月の定例会一般質問で、突然村長の虚偽発言と指摘されましたが、協議内容については、飯森区独自で判断をしない、村全体の意向に沿うということで理解しており、その事は、当初からの決定事項であり、臨時総会上で話せばよいと出席役員の発言もあるので、その内容からしても何ら虚偽に当たるものではないかと思っています。当時から区長は3代にわたっています。当時から区長は3代にわたって、このことをその都度、区の総会で報告をしていると聞いています。地区の事情も理解せず、第三者の単なる伝聞に流され、その地区の運営まで言及し、本会議で取り上げることは如何なものかと考え、また、区の内政干渉に繋がる恐れがあると危惧しています。虚偽発言とは何

をもって言われるのか釈然としないところであり、大変残念に思います。



役場庁舎

その後

渡辺議員の提訴問題に対する議会の対応として、次の内容で勧告をしました。

「あなたがとった住民監査請求並びに提訴した行動は、白馬村議会の品位を失墜させ

た。今後、このような行為をする場合は、議員を辞職して行うか、又は「議決」「執行」について、村民の理解を得て、尚且つ議会選出の監査委員と十分調整のうえ、行うよう勧告します。」

ごみ問題

問 アンケート結果後の進め方は

答 広域化の枠組みは維持したい



小林英雄議員

【ごみ処理施設問題】

問

飯森への建設計画がアンケートではっきりと否定された。この結果から何を学んだのか、次に、今後どう進めていくつもりですか。

村長

正しい情報の発信と意見を冷静に聞く姿勢の大切さ、さらには、官民一体となった協働での村づくりの大切さを再認識したところです。今後は、議会や村民の意見を十分聞きながら、慎重かつ迅速に三市村で協議し、方針を定めていくことになりませんが、私としては、ごみ処理広域化の枠組みそのものは、

問

新ごみ処理施設建設計画について、提言を

らず、現有施設を可能な限り使用することにはどうで

引続き維持していくことが、望ましいと考えています。

します。



子育て支援の充実を

すか。

②行政職員と住民・専門家で構成する委員会を立ち上げ、新たな計画の立案を委ねてはどうですか。

③これらと並行して、官民協働で村のごみ半減をめざす具体的な取組みを始めてはどうですか。

村長

1番目の提案については、広域化でやること、望ましいと思っております。2番目の提案については、3市村で具体的な検討をしていないので、今後この提案を協議の中で提言していきたい。3番目の提案については、ごみの減量化に努めることは当然のことです。

【子育て支援の充実】

問

村に若者が定住しない理由の一つに子育て支援の遅れがあると思えます。第一に、小児医療費無料化補助の対象年齢を、せめて1〜2歳程度引き上げてはどうですか。

第二に、就学援助の現状を伺います。

村長

平成21年度の予算化には踏み切れなかったが、今後も慎重に検討していきたい。就学補助は、生活保護や生活保護に準ずる程度に生活が困窮している者に対し、学用品・通学用品・給食費等についての援助(小学生23人・中学生20人で、支給総額380万円)と、特別支援学級に就学する児童・生徒の家庭に対し、補助(小学生9人・中学生5人で、補助金総額56万円)をしています。それから、私立高校に就学している生徒の保護者に、生徒一人当たりの1万5千円の助成をしています。また、21年度から私立幼稚園に就園している園児の世帯の内、低所得世帯に対して奨励費補助制度を導入します。

問

群馬県の中学校での児童医療費無料化が報道されたが、村でも支援を厚くしていくべきだと思いますが、村長の考えを伺います。

村長

国の補助制度がないものについては、村で対応していきたいと考えています。

ごみ問題

問 官民一体・協働で研究会発足を

答 しばらくは今のシステムで啓蒙



柏原孝至議員

【ごみ問題】

問

今村民の間で、ごみに対する関心が高まっています。ごみの減量、生ごみの堆肥化、分別回収、リサイクル等「総合的な処理システム」を作ることが必要だと思います。村民にも参加していただき、研究会を発足させてはいかがですか。

村長

村が決めた17分別の徹底がされたなら、焼却するごみの量は、相当量減らすことが可能となります。しばらくは各行政区の衛生組合長とも連携しながら、分別意識の向上のため、今のシス

テムで啓蒙を続けて行きたいと思えます。

問

ごみ減量化、堆肥化についての予算化は。

村長

家庭用生ごみ処理機、入補助、学校等の給食生ごみの堆肥化、ごみ・リサイクル物の分け方・出し方ガイドブック等の広報費を合わせて、230万円余りを計上してあります。

問

自然に土になるごみ袋を、村で使用することはできませんか。

村長

生分解性袋は、生ごみをみや光によって徐々に分解されるため、長時間生ごみを入れておくことができせん。木曾広域でも、生ごみはポリ容器に保管し、ごみを出す直前に、生分解性袋に移して出すようになっていきます。このような素材への転換につきましては、堆肥化センター

のような施設が、本村に可能になった暁の話になるものと考えています。

問

生ごみの堆肥化を、村内の業者を育成してできませんか。

村長

観光地であるがゆえの場所の問題、運搬システム、作られた堆肥の消費・流通につきましても、道筋がないとできないものです。安易に推進できるご提案ではありませんが、村内事業者の動向には注視していきたいと思えます。

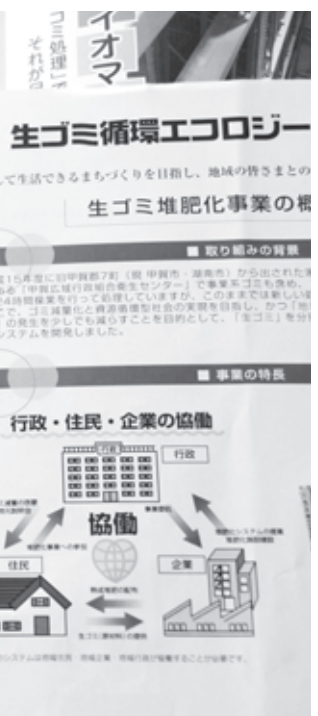
【観光産業発展のための諸政策】

問

世界・日本経済の不況が続く中、観光に対しての不況は2年から3年遅れてくると言われていますが、対応策は。

村長

お客様の視点で、村独自の環境と歴史に磨



協働で生ごみ堆肥化実現を（先進地視察資料）

きをかけ、観光局の提案、承認事項である「白馬観光の意識改革」の推進で、村民参加による強い白馬村観光を実現していくことが、継続可能な観光立村白馬村の実現であると考えます。

村長

地区の中に、対象となるエリアがありまして、花の里づくり計画に位置付けた事業として申請していただければ、村としても支援するつもりです。

問

花の里づくりの本年度の取り組みで、農地

追跡レポート

こないだ聞いたことあり
どうなったただやあり

問

私立幼稚園就園奨励費補助金交付制度を新設して、補助金を交付する考えはないですか。

答

今後、保育料の格差と判断した場合は、補助制度を設けて対処していきます。

その後

平成21年度から低所得世帯（村民税所得割課税額3万4500円以下）を対象に、私立幼稚園就園奨励費の補助を行うことにしました。

問

事務事業評価制度を導入すべきと思いますが。

答

小規模自治体が、自立するために必要不可欠。

その後

平成19年度は、試行的に内部評価に取り組み、庁内において検討を重ね、平成20年度では、第2段階として事業を選択して一部外部評価を行い、平成21年度の本格導入に向けてシステムの構築を目指しています。

おらが里づくり

野平区・野桜会 下川 守計



道標（柄山峠）の整備

蔵（延命地蔵）と大日如来像が安置され、白馬の里を風水害や疫病から守っていると言われている。

道中には、江戸時代の番屋跡や風穴があり、春にはイワウチワの花が群生しています。また最近、川中島合戦の頃かと思われる堀切の跡が発見されました。道もだいぶ歩き易くなり、役場観光農政課との協力で道標も設置し、昨年は公民館事業の

野平区では、7年前より有志により善光寺古道（柄山峠越え）の整備作業に取り組んでいます。

この道は旧鬼無里村から善光寺に至る街道で、古くは鎌倉時代以前から、糸魚川方面からの参拝者や牛馬が行き交い、昭和初期頃まで賑わっていました。が、いつしか廃れ、藪が繁茂してその道筋すら判らなくなりつつありました。このままでは、地域の歴史を伝える記憶が失われてしまうと、野平の野桜会メンバーを中心に村内外の有志が集まって、古道を復活させるべく活動しています。

実は、この柄山峠にはアルプスの小蓮華山と落倉を一直線で結ぶ、風切地

トレッキングが開催されて、歴史ロマンと里山の自然を楽しむ古道となってきました。また、地区では毎年高齢者や婦人が中心となって、集落周辺に花を植えています。作り手の無い畑には、菜の花やひまわりを植えて、景観形成と荒廃農地にならないように住民参加の取り組みも行っています。まだまだ周辺では、山林の間伐や復活させたい山道などがありますが、これからも参加メンバーが楽しみながら、一步一步白馬の里づくりができればと思います。終わりに、野平のような小集落の里山づくりに大変なボランティア作業に参加して頂いている村内外の皆さんに紙面をお借りして御礼申し上げます。

夢、私たちに。 わたしのひとこと



未来を信じ

新田 中村 豊

暗い問題をたくさん抱えた社会情勢、少子化問題、働かない青年層、不登校生徒の増加、犯罪の低年齢化等々、この先どうなるか見当もつかない。“まったく今の若い者は……”と言われてしまいそう。しかし、このことは今に限ったことではない。ある考古学者が古代エジプトの発掘調査中に象形文字を発見し、解説したところ「最近の若い者は……」という年寄りの愚痴が書かれていたそうである。また、日本でも平安時代の文章にやはり「最近の若い者は」と書かれたものがあるそうだ。そして、活動的な高度成長期の昭和40年代も、鶴田浩二のヒット曲『傷だらけの人生』の歌詞に「今の世の中、右も左も真暗闇じゃござんせんか。」とある。つまり、いつの時代も先の見通しはなく、若者は信頼がないと言うことに尽きるだろう。こう考えると、今の情勢に対して不平不満を言うよりも前向きに考えて、未来を信じ、夢と希望を持って精一杯生き抜くことが大事だと思う。



白馬の観光は食育

飯田 下川 千春

今年のように降雪が少ないと、雪に覆われた冬が懐かしい気がします。この不況で、白馬の観光資源である雪の製造も縮小されてしまったかしら。観光だけではなく、農業にも影響があるかと心配する声も聞きました。

ここ数年、食品に関する事故（偽装なども）が多く報道され、食について関心が高まっています。口にする食べ物が「安心安全」なのは、当り前の事なのに、わざわざ言わないといけないのはおかしいと思うのですが…。

観光には食べ物がつきものですね。何処かへ出掛けると、何かしら食べてきますよね。ここでは、おいしい空気と水で育った、お米や野菜を、観光で訪れた人達が食べて喜んでくれるので、嬉しいです。「食べる」ということは、心も体もあたたかくする事だそう。美味しい物を食べると笑顔になって、元気が出ます。白馬の観光には、元気が必要だと思います。



やっぱり白馬はスキーの村

八方口 丸山 勝

今年になって嬉しいニュースが次々と飛び込んで来ています。それは、白馬高校スキー部のインターハイでのリレー競技優勝から始まり、当村出身の渡部暁斗選手が世界選手権ノルディック複合団体に優勝し、その後のフリースタイルの世界選手権では、上村愛子選手が2種目で優勝、白馬村スキークラブの西伸幸選手が準優勝を飾りました。また、全日本スキー技術選手権では、松沢聖佳選手が8連覇をしております。これらの選手達の大活躍に、私を含めた村民は、このような大不況の中で、明るい希望を見つけたように思ったに違いありません。そして、この白馬村がスキーの村であったことを誇りに思い、改めてスキーを活性化の原点として考え直すことが大事だと私は思っています。スキー界に身を置くものの一人として、少しでもこの思いを具現化する努力を続けたいと考えています。

編集後記

住民と議会を繋ぐ大事な役割を担っているのが議会報です。「見てもらえる・読んでもらえる議会報」となるよう、「住民の目線」を何よりも重視して編集に努めてきました。その成果もあってか、議会報が少しずつ巷で話題に上るようになってきたことは大きな励みとなりました。次回6月、新しい議会での発行をお楽しみに！

渡辺俊夫記



議会報調査編集

特別委員会

議長 西澤 功
委員長 柏原 孝至
副委員長 渡辺 俊夫
委員 池田 和良
委員 小林 英雄
委員 太谷 正治
委員 宮尾 幸典
委員 高橋 賢一

西澤 功
柏原 孝至
渡辺 俊夫
池田 和良
小林 英雄
太谷 正治
宮尾 幸典
高橋 賢一